

オープン市場短信 (2008年5月)

2008.5.08

◆4月のCP市場動向

4月のCP新規発行額は約6兆4,200億円で、期落ち(約5兆3,400億円:当月発行分含む)を大きく上回る結果となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。3月期末対策での有利子負債圧縮目的でいったん残高を落とした事業法人が、新年度に入り復活発行を行なったことから残高増となった。

発行レートは、月中旬までは投資家の運用ニーズが強く弱含みで推移した。最上位格付け銘柄では、短国金利に接近する動きとなった。しかし、新しい積み期間がスタートした中旬以降、連休越えの資金調達を意識した外銀・外証がレポGCで積極的な資金調達を進めた影響を受け、現先取引レートが上昇した。加えて、20日・15日スタートの新規発行が重なり、ショートターム物から上昇地合いとなり、発行レートは全般的に強含みとなった。

《銘柄別の発行レート》

4月のCPLレートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.570% ~ 0.625%	0.575% ~ 0.630%	0.580% ~ 0.624%
格付 a-1(オペ適格)	0.569% ~ 0.650%	0.585% ~ 0.660%	0.590% ~ 0.660%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.562% ~ 0.619%	0.587% ~ 0.620%	0.596% ~ 0.599%
格付 a-1(リース銘柄)	0.610% ~ 0.680%	0.627% ~ 0.700%	0.604% ~
格付 a-2	0.630% ~ 0.730%	0.645% ~	ケ1.150% 0.680% ~ ケ1.30%

《CP オペ》

CP 買い現先オペは期落ちも無く、今月の実行は見送られた。

《ABCP》

4月末のABCPの発行残高は、前月比5,162億円減少し、前年同月(4兆9,695.43億円)比でも約4,454億円減少した。

《短期社債残高》

証券保管振替機構発表によると、短期社債の4月末発行残高は20兆8,517.22億円と前月比約5,760億円の増加となった。事業法人CPIは、電気・瓦斯や鉄鋼のほか、

食料品、情報・通信の増加が目立ち前月比9,456億円増、その他金融も2,885億円の増加。一方、銀行等金融機関の発行は、1,419億円減少。期末要因で一旦増加したABCPは、5,162億円の大幅減少となった。

発行登録企業474社中、タカタ・三菱オートリース・野村不動産オフィスファンド投資法人の3社が新規発行を行い、既発行企業は447社となった。

《現先市場》

月中現先レートは、前月同様月前半は落ち着いて推移し、S/N物からターム物まで0.55%近辺から0.60%割れでの出会いとなった。

しかし、準備預金の新しい積み期間に入り連休越えの資金調達ニーズからレポ金利が強含みに推移したため、上昇地合いとなった。中旬以降の現先レートは0.60%近辺からスタートし、0.60%台後半まで上昇する動きとなった。

◆5月のCP市場動向

5月中のCP償還額は、前年（約4兆5千億円）とほぼ同金額の期落ち額となっている（除く金融機関発行CP・ABCP）。月後半から、賞与資金や税・配当対応での発行増が予想されるため、月末残高は21兆円台半ばから後半となると思われる。

CP発行レートは、先月同様月中旬までは緩やかに低下していくと思われる。中旬以降、先月同様発行増に伴い、徐々に強含みとなるのではないかと予想。一般事業法人では、0.60%前後から前半での出会いを予想。リース銘柄では、0.60%台前半～0.70%割れの出会いを予想する。

《CPオペ》

期落ちが12日にあったが、見送られた。金利・需給環境もよく、今月、CP買い現先オペが実行される可能性は低いだろう。

《現先市場》

足元現先レートは、4月末に連休越えで強含みとなったが、連休明け後は低下し始め0.50%台後半から0.55%近辺での出会いとなっている。レポ市場の取引金利も0.5%台前半から0.55%近辺での出会いとなっていることから、S/N物は0.50%台半ばの出会いとなるだろう。月中のターム現先レートも同様の水準を予想する。

参考資料

業種別残高内訳

			単位:億円
業種	4月末残高	3月末残高	増減
事業法人	64,377	54,921	9,456
その他金融	68,347	65,462	2,885
金融機関	30,861	32,280	▲ 1,419
(銀行等	15,545	17,029	▲ 1,484)
(証券	15,316	15,251	65)
ABCP	44,942	50,104	▲ 5,162
計	208,527	202,767	5,760

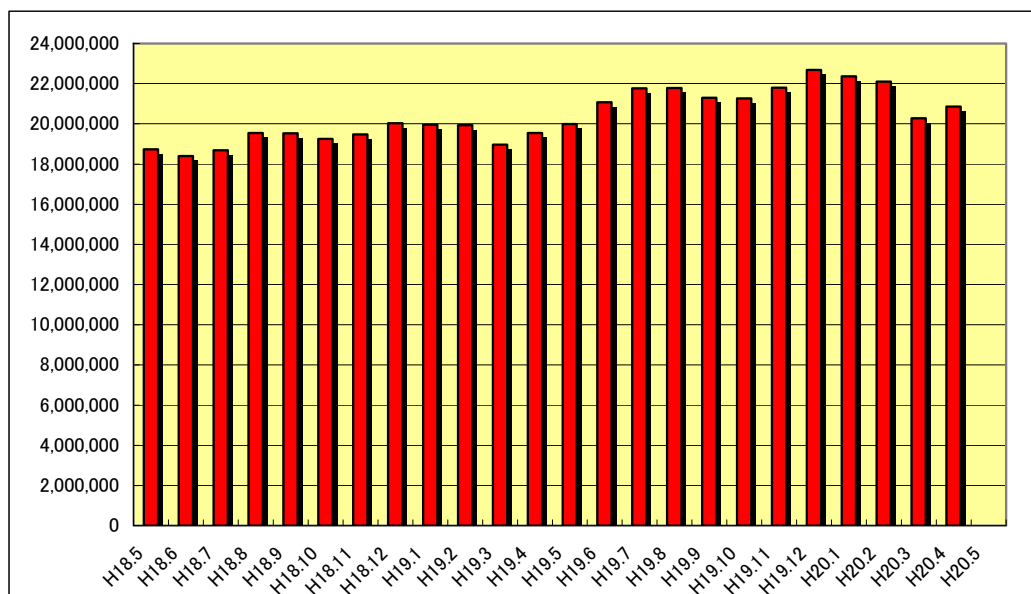
(注:買入消却分含む)

短期社債月末残高 (H18年5月~H20年4月)

4月末発行残高: 20兆8527.228億円

発行登録企業: 474社 (発行実績あり 447社)(単位:百万円)

(過去2年間の残高を表示)



4 月末発行残高ベスト 20

(単位:百万円)

	発行企業名	4月末残高
1	三菱UFJリース	926,400
2	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	750,800
3	オリックス	736,300
4	三井住友ファイナンス&リース	713,100
5	エイペックス・ファンディングコーポレーション	619,800
6	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	524,300
7	野村証券	511,000
8	日産自動車	490,000
9	新日本石油	473,000
10	フォレスト・コーポレーション	397,500
11	みずほコーポレート銀行	395,400
12	東京電力	375,000
13	興銀リース	329,000
14	大和証券SMBC	325,800
15	東京リース	325,200
16	三菱商事	324,000
17	芙蓉総合リース	323,600
18	日産フィナンシャルサービス	300,000
19	住友信託銀行	289,800
20	GEジャパン・ファンディング	285,500

参考出所 (株) 証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪府中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会